

第23回 多野藤岡建設業労働災害防止大会を開催しました

藤岡労働基準監督署

令和元年9月25日にみかぼみらい館小ホールにおいて、建設業労働災害防止協会群馬県支部藤岡分会、多野藤岡地区公共工事安全対策推進協議会、藤岡労働基準監督署の主催、藤岡多野医師会の後援により、第23回多野藤岡建設業労働災害防止大会を開催しました。

開会にあたり、労働災害により尊い命をなくされた方々のご冥福をお祈りし、全員で黙祷を捧げました。

建設業労働災害防止協会群馬県支部藤岡分会長、多野藤岡地区公共工事安全対策推進協議会長、藤岡労働基準監督署長の主催者挨拶の後、ご臨席いただいた来賓を代表して藤岡市長、建設業労働災害防止協会群馬県支部長、藤岡土木事務所長よりご祝辞を賜りました。

大会では、「建設業における労働災害防止について」をテーマに当署の産業安全専門官より災害発生状況、墜落・転落災害の防止、高年齢労働者の労働災害の防止、伐木作業等の安全対策の法改正等の説明を行いました。また、建設工事でも行われている伐木作業等における労働災害を防止するため、元林災防群馬県支部事務局長を講師に迎えて「林業労働災害の発生状況について」の演題による特別講演が行われ、林業の労働災害発生状況や災害事例、下肢の切創防止用保護衣等について理解を深めました。

締め括りに大会宣言を満場一致で採択し、参加者全員が、「人命尊重」という基本理念の下、リスクアセスメントの導入や墜落・転落災害防止対策の徹底等により、労働災害の撲滅を目指すことを決意し、誰もが安心して健康で働くことができる快適な職場の形成に全力を尽くすことを固く誓いました。

当署管内の建設業における労働災害は、昨年から状況が一転して休業4日以上の死傷災害が15件と一昨年の8件から倍増し、全産業で唯一の死亡災害も建設業での発生となっています。今年は、死亡災害こそ発生していませんが、倍増した昨年をさらに上回る勢いで労働災害が発生しており、8月末現在で既に昨年1年間に匹敵する14件に及んでいます。

本日の大会を契機に、増加に歯止めがかからない労働災害を食い止め、「災害がなく、健康で安心して働ける職場環境」の実現に向けて取り組んでいただきますようお願いします。

